

第3回

空のカーボンニュートラルシンポジウム

ICAOによるSAF 認証スキーム(SCS)について

一般財団法人 日本海事協会
環境部主管 山本 謙一郎

1. 自己紹介 (日本海事協会(ClassNK)について)

商号	一般財団法人 日本海事協会, Nippon Kaiji Kyokai (ClassNK)
創立	1899年 (発起人:高橋是清、渋沢栄一等)
職員数	1836名 (国内1048名, 海外788名)
本部	東京都千代田区紀尾井町4番7号
拠点数	131ヶ所 (国内22ヶ所, 海外109ヶ所)
主な業務	<p>安全確保及び環境の汚染防止のために、船舶検査・船級登録を主たる業務とし、登録隻数は9000隻以上、隻数において世界最大の船級協会。その他、第三者機関として、ISO等、様々な認証業務等を通じて社会に貢献。</p> <p>近年、温室効果ガス検証(IMO,ICAO)、再生可能エネルギー(風力発電)認証や、無人航空機(ドローン)操縦士試験等、幅広い認証/検証業務に取り組んでいる。</p>



運輸業界の課題解決へ共に歩みます

沿革

<p>1899 帝國海事協会創立 (明治32年)</p> <p>日本海事協会の前身となる帝國海事協会が創立されました。初代総意は、有栖川宮威仁親王です。ClassNKは当初、皇室と関わり合いの深い協会でした。</p>	<p>1920 船級船第一船“華南丸”竣工 (大正9年)</p> <p>創立して約20年、浦賀造船所で建造された貨物船“華南丸”が初めて入級しました。以降、入級船は着実に増加し、9年後の皇室と関わり合いの深い協会でした。’29年には、100万総トンを突破しました。</p>	<p>1946 日本海事協会に改名 (昭和21年)</p> <p>戦後の混乱がまだ収まらない中、名称を日本海事協会と改めました。以降、頭文字を取ったNKという略称で親しまれ、1992年にClassNKのロゴと通称を制定しました。</p>	<p>1962 海外初の事務所をロンドンとニューヨークに開設 (昭和37年)</p> <p>船級船の増加に伴い、世界のどこでも検査が行えるように、海外事務所を開設しました。現在では、130箇所・50か国以上の拠点到事務所に配置しており、世界各地で検査を行っています。</p>	<p>2011 一般財団法人への移行、子会社を傘下に (平成23年)</p> <p>公益法人認定法によりClassNKは一般財団法人に移行しました。これに伴い、子会社を傘下に入れることによって、より幅広いサービスを業界全体に提供できるようになりました。</p>	<p>2012 世界初、船級登録船合計2億総トン突破 (平成24年)</p> <p>ClassNKが検査する船級船は、造船・海運業界の発展と共に着実に伸び、1985年には100万総トンを突破、約30年後の1997年には10億トンを突破、15年後の2012年には世界で初めて2億総トンを突破しました。</p>
---	---	---	--	---	--

2. ICAOによるSAFとは？

■ CORSIA適格燃料(CEF)について

- ✓ CORSIAでGHG削減効果が認められるのは、CORSIAが認める燃料(CORSIA Eligible Fuel)の使用のみ

	(化石由来) ジェット燃料	CORSIA適格燃料 (CEF)	EU-RED適合燃料 (EU-ETS)	認証なし 航空代替燃料
呼 称	従来燃料	SAF		
安全性	ASTM D1655 (他、Def-Stan等)	ASTM D7566		
適用規格 (要求事項)	/	ICAO CORSIA (ICAO SCS)	EU RED	なし
削減効果	なし	○ (CORSIA報告)	○ (EU各国空港義務化)	?(不明) (非化石由来)
JCAB報告	○	○	不要	不可

3. ICAOによるSAF認証スキームの概要



4. ICAOによる本会の承認

- ICAO第233回理事会(10/9~11/8)にて承認 (ISCC,RSBに次ぐ、世界3機関目)
- ICAO文書は2024年10月28日付で改訂



ICAO document - CORSIA Approved Sustainability Certification Schemes

CORSIA APPROVED SUSTAINABILITY CERTIFICATION SCHEMES

The following Sustainability Certification Schemes are approved by the ICAO Council as meeting the requirements included in the ICAO document “CORSIA Eligibility Framework and Requirements for Sustainability Certification Schemes”, and they are eligible to certify CORSIA eligible fuel economic operators for compliance with the ICAO document “CORSIA Sustainability Criteria for CORSIA eligible fuels”, and to ensure that the methodology defined in the ICAO document “CORSIA Methodology for Calculating Actual Life Cycle Emissions Values” has been applied correctly.

Name of the Sustainability Certification Scheme	Date of approval	Website	Scope of approval
International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)	16 Jun. 2023	https://www.iscc-system.org/about/sustainable-aviation-fuels/corsia/	Certification of CORSIA Sustainable Aviation Fuels economic operators covered by Chapters 1 and 2 of the ICAO document “CORSIA Sustainability Criteria for CORSIA eligible fuels”
Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)	16 Jun. 2023	https://rsb.org/rsb-corsia-certification/	Certification of CORSIA Sustainable Aviation Fuels economic operators covered by Chapters 1 and 2 of the ICAO document “CORSIA Sustainability Criteria for CORSIA eligible fuels”
ClassNK SCS	28 Oct. 2024	https://www.classnk.or.jp/hp/en/authentication/scs/index.html	Certification of CORSIA Sustainable Aviation Fuels economic operators covered by Chapter 2 of the ICAO document “CORSIA Sustainability Criteria for CORSIA eligible fuels”

https://www.icao.int/environmental-protection/CORSIA/Documents/CORSIA_Eligible_Fuels/ICAO%20document%2004%20-%20Approved%20SCSs%20-%20October%202024.pdf

日本発のSCSとして、SAFの普及・拡大に向けて活動される事業者様をサポートします



ICAO要求事項に準拠



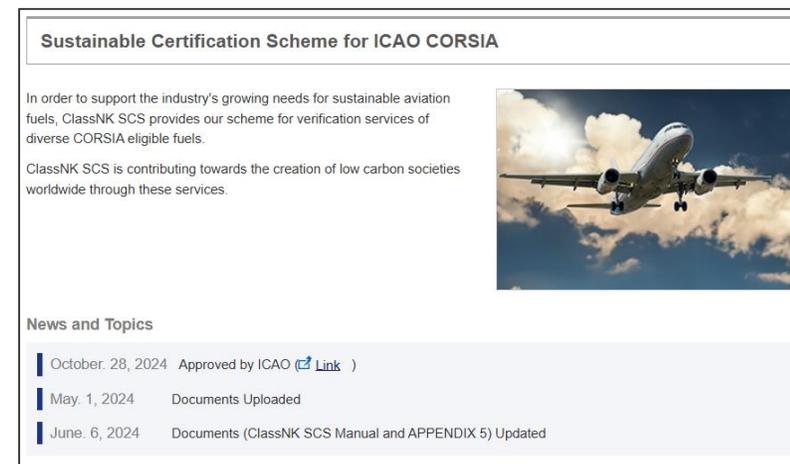
日本語による研修、審査、各種文書の公開



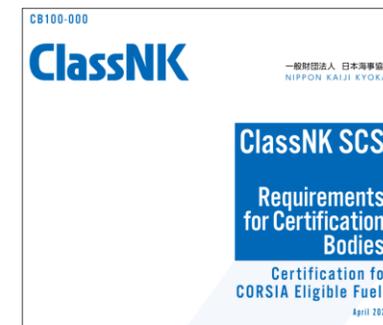
複数の要求事項は各国の法令に基づき審査



日本では国内法令を熟知した審査員が審査



ホームページ(日本語ページ準備中)



制度文書(日本語版準備中)

6. サステナビリティ基準について

- ClassNK SCSはCORSlAのサステナビリティ基準14項目(2024.1~)に準拠

項目	原則・基準
1. 温室効果ガス	LCAでのGHG排出量を削減(10%以上)
2. 炭素ストック	高い炭素ストックをもつ土地(原生林、泥炭地等)から得られるバイオマス由来の原料でないこと(IPCC)。2008年以降の土地利用変化の場合はDLUCを考慮。
3. GHG排出削減の永続性	CCSで適用されるGHG削減効果は永続的であること(ICA0)
4. 水	水質及び水の利用可能性(地下水等)の維持、枯渇防止、または向上
5. 土壌	土壌の健全性(物理的、科学的、生物学的)の維持、または向上
6. 大気	大気汚染物質の排出の抑制
7. 生物多様性保全	生物多様性、保全価値及び生態系サービス(外来種の侵略防止)の維持
8. 廃棄物及び化学物質	廃棄物及び化学物質使用の管理体制(保管、処理、廃棄)
9. 地震及び振動の影響	該当なし(LCAFのみが対象)
10. 人権及び労働者の権利	人権と労働者の権利の尊重
11. 土地利用の権利及び土地利用	土地の権利及び土地利用の権利(先住権)の尊重
12. 水利用の権利	地域の慣習的な水利用の権利の尊重
13. 地域及び社会の発展	貧困地域の社会的・経済的発展に寄与
14. 食料安全保障	食料不安のある地域における食料安全保障の促進

ClassNK SCSでは各国法令に基づいて判断

自主宣告 (SCS審査なし)



2024年10月28日付で **ICAOのSCSとして承認**
ISCC(ドイツ)、RSB(スイス)に次ぐ、**世界で3機関目**。欧州以外では初



弊会の**サステナビリティ基準はICAO基準に準拠**



Act for Skyに加入
SAF製造にかかわる事業者との情報共有を通じて普及・拡大に取り組む



現在、認証機関 及び 認定機関と体制構築中
(事業開始目標:2025年春)

ご清聴 ありがとうございました

【お問い合わせ先】
一般財団法人 日本海事協会
認証本部 環境部

E-mail: scs@classnk.or.jp
HP: <https://www.classnk.or.jp>